

アジア経済レポート（ビジネス編）

あなたは商社に勤めることになりました。アジアのいずれかの国との商談をまとめることが最初の仕事です。

そのためには、まず上司にレポートを書かなければいけません。次の条件を満たしながらアジアの国々と貿易するためのレポートを書いてください。

（条件1） 大前提として、取引相手先の国に、安全性、成長性などの魅力があることが求められる。

国・地域の魅力について

- ・その国が貿易相手国としてどういう魅力があるのかを述べる。
- ・経済状態について振れる。最低限、過去5年間の実質GDP成長率と今年度実質GDPの見通しについて書く（必要があればグラフを使う）
- ・そのほかの資料や新聞検索などで、経済状態を把握する。

GDPのデータについて

（今年 - 2）年までのデータは、アジア開発銀行ホームページ参照。

（今年 - 1）年と今年のデータは「世界経済の潮流」に書いてある出所を書く。

見通しの場合は、「世界経済の潮流」にあるいくつかの見通しから一つを選ぶ。

（例）今年が2010年なら2008年まではアジア開発銀行、2009、2010年は「世界経済の潮流」を参考にする。

<今年 - 2年まで>

Asian Development Bank ホームページ Economics & Statistics K I * * * *を選ぶ。

下のほうにある、「Part IV - Country Tables」から実質GDP成長率を見つける。

「At Constant **** Prices」の中の、「Growth of Output annual change, %」の、GDPを選ぶ。

<今年 - 1、今年>

内閣府 経済財政政策 白書等 「世界経済の潮流」最新版

（資料1）各国・地域等の経済見通し を参考にする。今年の予測値が複数あるばあいは、どれか一つを選び、それを明記する。

(条件2) 日本からの輸出、日本への輸入、いずれでも構いません。輸出の場合は、日本製品をアジアのいずれかの国に売る企画、輸入の場合は、アジアのいずれかの国から日本へ商品を輸入する企画となります。

(条件3) 貿易する商品はJETROホームページの「引き合いデータベース」から選ぶ。どの案件からのものかがわかるように、レポートには「案件番号」を必ず書くこと。

JETROホームページ

<引き合い・展示会> 引き合いデータベース(TPPP)を選択

左側にある<案件検索>を利用する。

分野別/地域別一覧を選び、「アジア」の中から案件を選ぶ。

(条件4) 利益の見積もりを作成する。

利益が100万円以上となるプロジェクトとする。

JETROの引き合いデータベースにも単価などは出てこない場合が多いので、自分で調べたり想定したりして、単価を決める。

(レポートの構成例)

タイトル (自分で考える)

サブタイトル を 国から(へ)輸入(出)する

(1) 国の動向

実質GDP成長率について、

(文章+表、グラフ)

	2006	2007	2008	2009	2010
実質GDP 成長率					

(注)(今年-4)年から(今年-2)年まではアジア開発銀行、(今年-1)年、今年は×の見通し。(数字は例。今年を最新年とすること)

- ・成長性について
- ・安全性について
- ・その他の魅力

(2) プロジェクトの魅力

について説明する。

そのほか、プロジェクトの魅力、実現性など。

(3) 利益の見積もり

利益の見積もりは、以下の表の通り。

見積もり書

	単価	販売個数	金額
仕入れ			
販売			
運送費	-	-	
利益	-	-	

<(注)輸出の場合、仕入れは日本で、販売はアジアのいずれかの国で行う。

輸入の場合、仕入れはアジアのいずれかの国で、販売は日本で行う。>

(4) おわりに

まとめを書く。